

令和7年度ごみ処理実績表

1 令和7年度ごみ処理実績表

人口・世帯数比較表（対前年度比）

	令和7年度	令和6年度	増減	対前年度比
人 口 （ 人 ）	609,493	607,943	1,550	100.3%
世 帯 数 （ 世 帯 ）	313,611	308,606	5,005	101.6%

※各年度3月31日現在

ごみ発生量比較表（対前年度比）

	令和7年度(t)	令和6年度(t)	増減(t)	対前年度比
排 出 量	160,550.46	163,497.55	-2,947.09	98.2%
排出量（集団資源回収を除く）	151,717.11	154,339.33	-2,622.22	98.3%
一 般 ご み	127,719.93	129,750.91	-2,030.98	98.4%
粗 大 ご み	4,780.11	5,129.61	-349.50	93.2%
資 源 物	19,134.64	19,333.01	-198.37	99.0%
びん	3,045.37	3,141.92	-96.55	96.9%
飲料かん	1,149.95	1,252.56	-102.61	91.8%
金属類	1,168.02	1,195.61	-27.59	97.7%
ペットボトル	2,444.47	2,497.64	-53.17	97.9%
繊維類	2,061.91	2,000.95	60.96	103.0%
紙類	5,885.27	5,898.65	-13.38	99.8%
プラスチック製容器包装	3,379.65	3,345.68	33.97	101.0%
乾 電 池	70.61	122.45	-51.84	57.7%
有 害 ご み （ 蛍 光 管 ）	11.82	3.33	8.49	355.0%
集 団 資 源 回 収	8,833.35	9,158.22	-324.87	96.5%
災 害 廃 棄 物	0.00	0.02	-0.02	皆減

家庭系・事業系別排出量比較表（対前年度比）

	令和7年度(t)	令和6年度(t)	増減(t)	対前年度比
家庭系	111,540.03	113,876.20	-2,336.17	97.9%
一 般 ご み	87,634.49	89,368.91	-1,734.42	98.1%
粗 大 ご み	4,734.20	5,076.72	-342.52	93.3%
資 源 物	19,088.91	19,304.79	-215.88	98.9%
乾 電 池	70.61	122.45	-51.84	57.7%
有害ごみ（蛍光管等）	11.82	3.33	8.49	355.0%
事業系	40,177.08	40,463.11	-286.03	99.3%
一 般 ご み	40,085.44	40,382.00	-296.56	99.3%
粗 大 ご み	45.91	52.89	-6.98	86.8%
資 源 物	45.73	28.22	17.51	162.0%

中間処理量比較表（対前年度比）

	令和7年度(t)	令和6年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼 却 処 理	91,550.47	123,342.97	-31,792.50	74.2%
破 砕 処 理	3,258.99	3,799.70	-540.71	85.8%
資 源 化 処 理	19,137.22	19,335.17	-197.95	99.0%

最終処分量比較表（対前年度比）

	令和7年度(t)	令和6年度(t)	増減(t)	対前年度比
焼却残渣	7,956.53	7,207.57	748.96	110.4%
資源化物	22,937.93	25,533.71	-2,595.78	89.8%
処理困難物	138.33	167.05	-28.72	82.8%

※ 令和11年度を目標年度とする最終処分量（焼却残渣物）の目標は6,009 t

※ 令和7年1月の朝日環境センター火災に伴い、一般ごみ41,715.36 t を外部委託により処理した。

資源化物比較表（対前年度比）

	令和7年度(t)	令和6年度(t)	増減(t)	対前年度比
資源化物	22,937.93	25,533.71	-2,595.78	89.8%
焼却残渣金属	0.00	0.00	0.00	—
未酸化鉄	254.13	417.52	-163.39	60.9%
未酸化アルミ	20.99	36.57	-15.58	57.4%
溶融スラグ	1,848.94	4,617.35	-2,768.41	40.0%
焼却残渣物（資源化）	2,500.92	2,101.65	399.27	119.0%
再生粗大ごみ	6.48	7.41	-0.93	87.4%
破碎前金属	207.90	168.32	39.58	123.5%
破碎後金属	538.61	613.84	-75.23	87.7%
破碎前アルミ屑	0.00	1.50	-1.50	皆減
破碎後アルミ屑	23.34	24.92	-1.58	93.7%
びん	2,907.57	2,987.09	-79.52	97.3%
飲料かん	961.40	1,040.33	-78.93	92.4%
金属類	827.99	869.42	-41.43	95.2%
繊維類	1,501.09	1,404.82	96.27	106.9%
ペットボトル	2,097.41	2,075.40	22.01	101.1%
紙類	5,732.37	5,693.38	38.99	100.7%
プラスチック製容器包装	3,174.43	3,106.60	67.83	102.2%
特定家庭用機器	3.89	5.94	-2.05	65.5%
小型家電	248.04	235.87	12.17	105.2%
乾電池	70.61	122.45	-51.84	57.7%
蛍光灯	11.82	3.33	8.49	355.0%

1人・1世帯あたり排出量比較表（対前年度比）

	令和7年度(g)	令和6年度(g)	増減(g)	対前年度比
1人1日あたり	721.69	736.81	-15.12	97.9%
1世帯1日あたり	1,402.58	1,451.49	-48.91	96.6%

※ 1人（1世帯）1日あたり排出量＝排出量÷年度末人口（世帯）÷365日

※ 令和11年度を目標年度とする市民1人1日あたりのごみ排出量目標は760 g

資源化率及びリサイクル率比較表（対前年度比）

	令和7年度(g)	令和6年度(g)	増減(%)	対前年度比
資源化率(%)	15.1%	16.5%	-1.4	91.5%
リサイクル率(%)	19.8%	21.2%	-1.4	93.4%

※ 資源化率(%)＝資源化物÷排出量（集団資源回収を除く）×100

※ リサイクル率(%)＝（資源化物＋集団資源回収）÷排出量×100

※ 令和11年度を目標年度とするリサイクル率の目標は30.0%

人口(人)
609,493
(100.3%)
世帯数(世帯)
313,611
(101.6%)

排出量
160,550.46
(98.2%)

※ () 内の数字は対前年度比
※ リサイクル残渣とは、資源物を処理する際に生じる不純物を示す
※ 併せ産廃とは、一般廃棄物とあわせて処理する産業廃棄物を示す

【収集運搬】 + 【直接搬入】

一般ごみ	127,719.93	(98.4%)	家庭系	87,634.49
			事業系	40,085.44
			一般廃棄物	39,538.14
			併せ産廃	547.30

粗大ごみ	4,780.11	(93.2%)	家庭系	4,734.20
			事業系	45.91

資源物	19,134.64	(99.0%)	びん	3,045.37
			家庭系	3,032.21
			事業系	13.16
			飲料かん	1,149.95
			家庭系	1,141.97
			事業系	7.98
			金属類	1,168.02
			家庭系	1,165.49
			事業系	2.53
			ペットボトル	2,444.47
			家庭系	2,426.15
			事業系	18.32
			繊維類	2,061.91
			家庭系	2,061.91
			事業系	0.00
			紙類	5,885.27
			家庭系	5,881.70
			事業系	3.57
			プラスチック製容器包装	3,379.65
			家庭系	3,379.48
			事業系	0.17

有害ごみ	11.82	(355.0%)	蛍光灯	11.82
------	-------	----------	-----	-------

乾電池	70.61	(57.7%)	乾電池	70.61
-----	-------	---------	-----	-------

災害廃棄物	0.00	皆減	災害廃棄物	0.00
-------	------	----	-------	------

広域化等受託処理	0.00	(-)		0.00
----------	------	-----	--	------

【中間処理】

処理施設：朝日環境センター、戸塚環境センター

焼却処理	91,550.47	(74.2%)	一般ごみ	86,004.57
			広域化受託処理	0.00
			焼却対象ごみ	1,128.83
			リサイクル残さ	1,745.88
			破碎可燃物	2,671.19
			乾電池	70.61
			蛍光灯	11.82
保管	82.43			

処理施設：戸塚環境センター

破碎処理	3,258.99	(85.8%)	破碎可燃物	2,671.19
			再生粗大ごみ	6.48
			破碎前金属	19.37
			破碎後金属	538.61
			破碎前アルミ屑	0.00
			破碎後アルミ屑	23.34
			特定家庭用機器	3.89
			小型家電	6.31
			処理困難物	138.33
保管	148.53			

処理施設：リサイクルプラザ

資源化処理	19,137.22	(99.0%)	びん選別	3,045.37
			生きびん	19.43
			白カレット	899.50
			分別基準適合物	0.00
			独自資源化量	899.50
			茶カレット	706.25
			分別基準適合物	359.99
			独自資源化量	346.26
			その他カレット	559.39
			カレット残さ	723.00
			リサイクル残さ	137.80
			飲料かん選別・圧縮	1,149.95
			アルミ	811.00
			スチール	150.40
			リサイクル残さ	188.55
			金属類選別・保管	1,168.02
			売却金属	827.99
			破碎金属	3.97
			小型家電	185.11
			金属処理困難物	0.00
			リサイクル残さ	150.95
			ペットボトル選別・圧縮	2,444.47
			分別基準適合物	1,893.17
			独自資源化量	204.24
			リサイクル残さ	347.06
			繊維類選別・保管	2,061.91
			売却繊維類	1,501.09
			リサイクル残さ	560.82
			紙類選別・梱包	5,887.85
			新聞紙	511.65
			雑誌・雑紙	1,206.90
			段ボール	3,130.83
			紙バック	22.22
			紙製容器包装	860.77
			分別基準適合物	0.00
			独自資源化量	860.77
			リサイクル残さ	155.48
			プラスチック製容器包装選別・圧縮	3,379.65
			分別基準適合物	3,174.43
			リサイクル残さ	205.22

処理施設：鳩ヶ谷衛生センター

選別処理	1,477.62	(119.4%)	焼却対象ごみ	1,128.83
			破碎対象ごみ	101.06
			資源化対象ごみ	2.58
			破碎前金属	188.53
			破碎前アルミ	0.00
			小型家電	56.62

【最終処分】

埋立処分	7,956.53	(110.4%)	焼却残さ物	7,956.53
------	----------	----------	-------	----------

資源化物	22,937.93	(89.8%)	焼却残さ金属	0.00
			未酸化鉄	254.13
			未酸化アルミ	20.99
			溶融スラグ	1,848.94
			焼却残渣物(セメント資源・路盤材資源)	2,500.92
			再生粗大ごみ	6.48
			破碎前金属	207.90
			破碎後金属	538.61
			破碎前アルミ屑	0.00
			破碎後アルミ屑	23.34
			びん	2,907.57
			生きびん	19.43
			白カレット	899.50
			茶カレット	706.25
			その他カレット	559.39
			カレット残さ	723.00
			飲料かん	961.40
			アルミ	811.00
			スチール	150.40
			金属類	827.99
			売却金属	827.99
			ペットボトル	2,097.41
			繊維類	1,501.09
			紙類	5,732.37
			新聞紙	511.65
			雑誌・雑紙	1,206.90
			段ボール	3,130.83
			紙バック	22.22
			紙製容器包装	860.77
			プラスチック製容器包装	3,174.43
			特定家庭用機器	3.89
			小型家電	248.04
			乾電池	70.61
			蛍光灯	11.82

処理困難物	138.33	(82.8%)	スプリング	108.36
			タイヤ	0.00
			バッテリー	0.00
			消火器	0.00
			バイク	0.00
			車部品等	0.90
			その他	29.07

委託処理	41,715.36	(334.6%)	一般ごみ	41,715.36
			災害廃棄物	0.00

3 廃棄物の排出状況について

(1) 排出量の推移

「排出量」とは、市が収集したごみの量、市のごみ処理施設に直接搬入されたごみの量、および集団資源回収で資源化された紙類・繊維類の量の合計であり、本市の一般廃棄物の総量(併せて処理する産業廃棄物を含む)である。

令和7年度は、対前年度比 2,947t(1.8%)減少した。

図1 排出量の推移

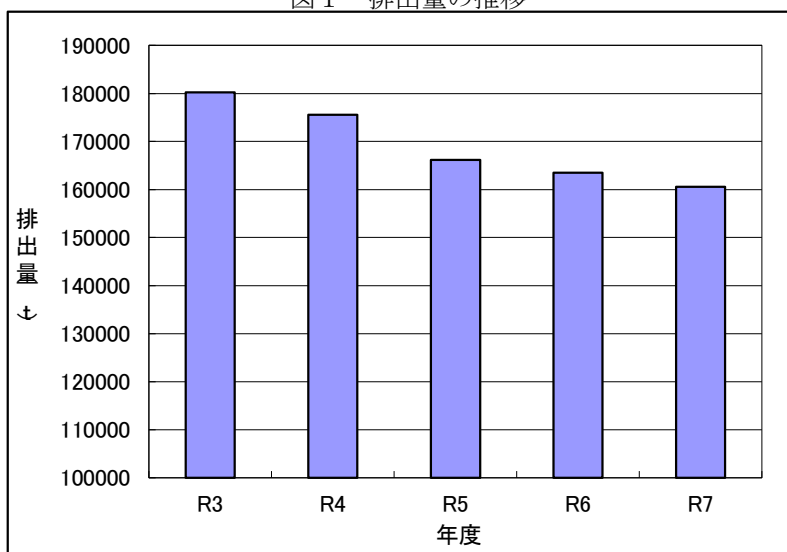


表1 排出量の推移

年 度	R3	R4	R5	R6	R7
排 出 量	180,204.75	175,568.33	166,145.99	163,497.55	160,550.46
	—	97.4%	94.6%	98.4%	98.2%

【下段は、対前年度比率】

※令和3年度5t、5年度7tの災害廃棄物を含む。

(2) 排出量(集団資源回収量除く)の推移

図2 排出量(集団資源回収量除く)の推移

「排出量(集団資源回収量除く)」とは、排出量から集団資源回収量を除いた量である。

令和7年度は、対前年度 2,622t(1.7%)減少した。

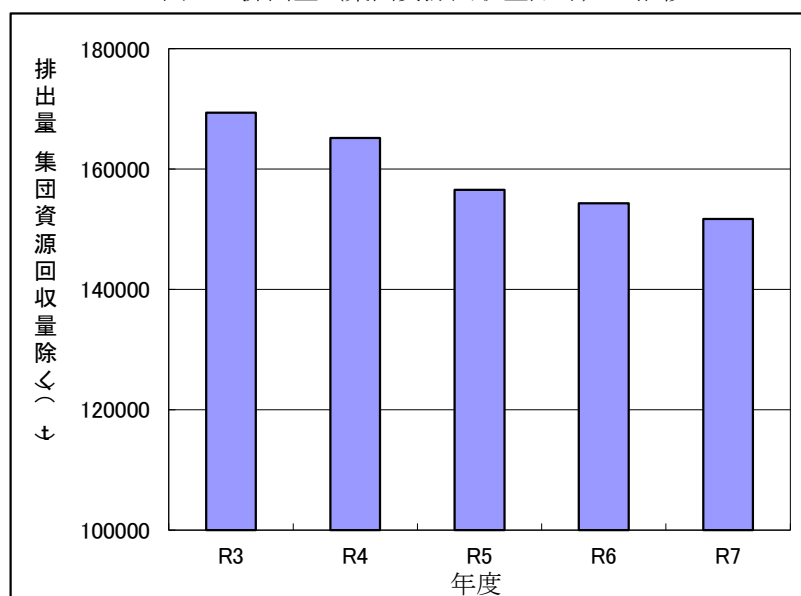


表2 排出量(集団資源回収量除く)の推移

年 度	R3	R4	R5	R6	R7
排 出 量 (集団資源回収量除く)	169,425.94	165,189.01	156,587.62	154,339.33	151,717.11
	—	97.5%	94.8%	98.6%	98.3%

【下段は、対前年度比率】

※令和3年度5t、5年度7tの災害廃棄物を含む。

(3) 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

令和7年度の家庭系一般廃棄物排出量（集団資源回収量除く）は、対前年度比2,336 t（2.1%）減少した。

事業系一般廃棄物の排出量は、対前年度比286 t（0.7%）減少した。

図3 家庭系・事業系別排出量（集団資源回収量除く）の推移

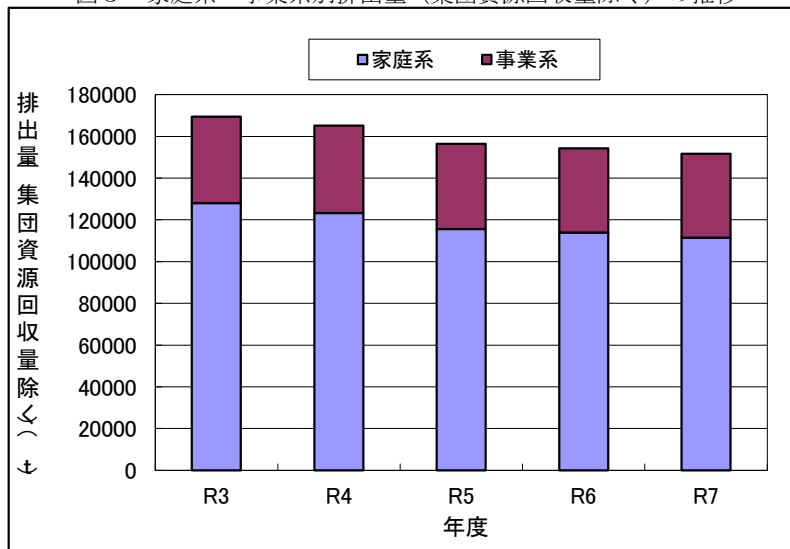


表3 家庭系・事業系別総排出量の推移

年 度	R3	R4	R5	R6	R7
家 庭 系	127,935.68	123,245.95	115,703.28	113,876.20	111,540.03
	—	96.3%	93.9%	98.4%	97.9%
事 業 系	41,484.96	41,943.06	40,877.62	40,463.11	40,177.08
	—	101.1%	97.5%	99.0%	99.3%

【下段は、対前年度比率】

※家庭系・事業系に災害廃棄物は含まない。

(4) 分別収集の推移

ア 一般ごみ

令和7年度は、対前年度比2,031 t（1.6%）の減少となった。内訳は、家庭系が1,734 t（1.9%）減少、事業系が297 t（0.7%）の減少となっている。

図4 一般ごみの推移

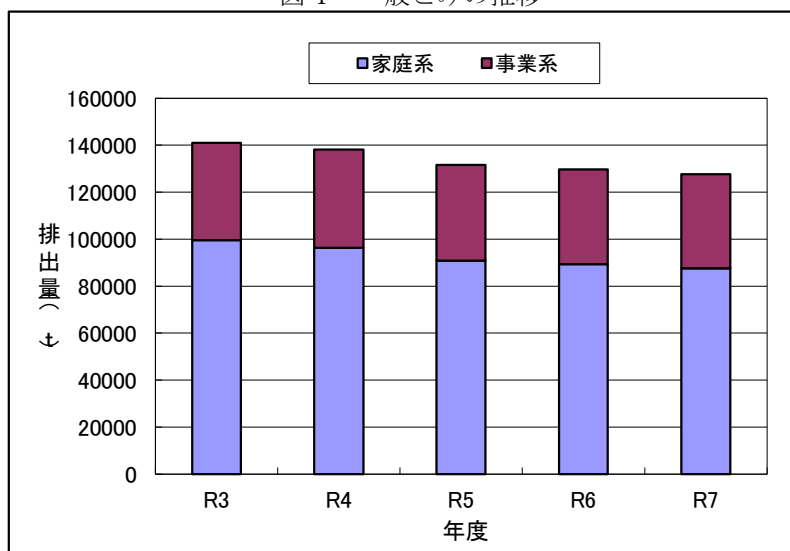


表4 一般ごみの推移

年 度	R3	R4	R5	R6	R7
一 般 ご み	140,995.22	138,085.37	131,677.56	129,750.91	127,719.93
	—	97.9%	95.4%	98.5%	98.4%
家 庭 系	99,586.89	96,223.97	90,875.80	89,368.91	87,634.49
	—	96.6%	94.4%	98.3%	98.1%
事 業 系	41,408.33	41,861.40	40,801.76	40,382.00	40,085.44
	—	101.1%	97.5%	99.0%	99.3%

【下段は、対前年度比率】

※一般ごみに災害廃棄物は含まない。

イ 粗大ごみ

令和7年度は、対前年度比350 t（6.8%）減少した。内訳は、家庭系粗大ごみが343 t（6.7%）減少、事業系粗大ごみが7 t（13.2%）減少となっている。

図5 粗大ごみの推移

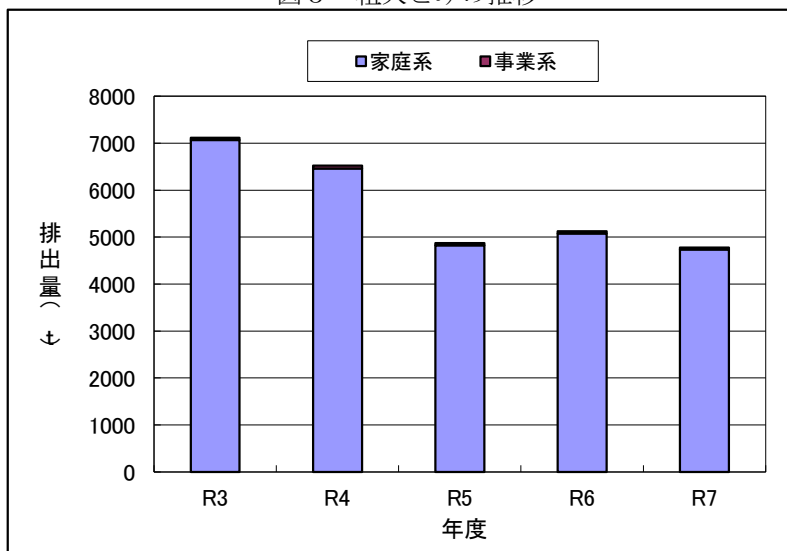


表5 粗大ごみの推移

年 度	R3	R4	R5	R6	R7
粗 大 ご み	7,119.65	6,521.51	4,872.00	5,129.61	4,780.11
	—	91.6%	74.7%	105.3%	93.2%
家 庭 系	7,067.84	6,466.87	4,827.94	5,076.72	4,734.20
	—	91.5%	74.7%	105.2%	93.3%
事 業 系	51.81	54.64	44.06	52.89	45.91
	—	105.5%	80.6%	120.0%	86.8%

【下段は、対前年度比率】

※粗大ごみに災害廃棄物は含まない。

ウ 資源物

令和7年度は対前年比198 t（1.0%）減少した。内訳は、家庭系資源物が216 t（1.1%）減少、事業系資源物が18 t（62.0%）の増加となっている。

図6 資源物の推移

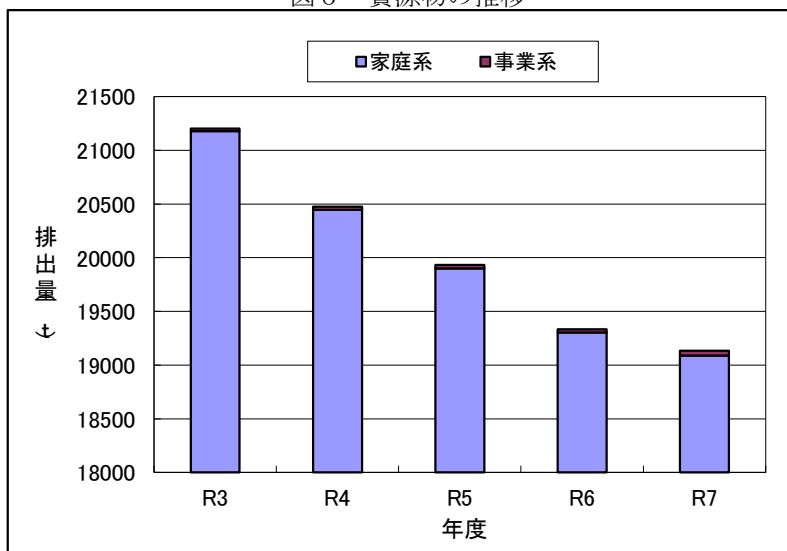


表6 資源物の推移

年 度	R3	R4	R5	R6	R7
資 源 物	21,202.08	20,474.12	19,931.89	19,333.01	19,134.64
	—	96.6%	97.4%	97.0%	99.0%
家 庭 系	21,177.26	20,447.10	19,900.09	19,304.79	19,088.91
	—	96.6%	97.3%	97.0%	98.9%
事 業 系	24.82	27.02	31.80	28.22	45.73
	—	108.9%	117.7%	88.7%	162.0%

【下段は、対前年度比率】

※資源物に災害廃棄物は含まない。

(5) 「第7次川口市一般廃棄物処理基本計画」における目標

(ア) 1人1日あたりのごみ排出量の目標

令和11年度に、1人1日あたりのごみ排出量を760g／人・日以下にする。

基準値	平成30年度実績	826g／人・日
最終目標	令和11年度目標	760g／人・日（基準値から66g削減）

令和7年度	目標	790g／人・日（基準値から36g削減）
	実績	722g／人・日（基準値から104g削減）

(イ) リサイクル率の目標

令和11年度に、リサイクル率を30%以上にする。

基準値	平成30年度実績	22.5%
最終目標	令和11年度目標	30.0%（基準値から約8ポイント向上）

令和7年度	目標	26.6%（基準値から4.1ポイント向上）
	実績	19.8%（基準値から2.7ポイント低下）

(ウ) 最終処分量の目標

令和11年度に、最終処分量を6,009t以下にする。

基準値	平成30年度実績	6,575t
最終目標	令和11年度目標	6,009t（基準値から約8.6%削減）

令和7年度	目標	6,203t（基準値から約5.6%削減）
	実績	7,957t（基準値から約21.0%増加）

(エ) 家庭から排出される食品ロス量

令和11年度に、1人1日あたりの食品ロス量を48g／人・日以下にする。

基準値	令和元年度実績	78g／人・日
最終目標	令和11年度目標	48g（基準値から30g削減）

令和7年度	目標	63g／人・日（基準値から15g削減）
	実績	54g／人・日（基準値から24g削減）

※一般ごみ組成調査より算出